

令和4年度第2回 青森市障がい者自立支援協議会 議事要旨

日時 令和4年7月21日（木）10:00～12:00

場所 青森市総合福祉センター 2階 大集会室

出席者 (委員) 中村委員、高橋委員、常田委員、狭間委員、高杉委員、粕谷委員、
小山田委員、佐藤委員、長谷川委員、中野委員、西脇委員、谷川委員、
阿保委員、藤川委員、野呂委員、鹿内委員
(計16名)

(事務局) 障がい者支援課 竹谷課長、山口主幹、長谷川主幹、赤平主幹、斎藤主幹、
竹内主査、渡邊主査、三上主事

1 開会

2 報告事項

(1) 青森市障がい者相談支援事業活動報告

<青森市障がい者相談支援事業を受託する事業者から、「資料 2 青森市障がい者相談支援事業活動報告」に基づき説明>

3 各部会での話し合い及び各部会からの報告

(1) 各部会からの報告

<各部会での協議後、協議内容を部会リーダー等から報告>

(委員) 「みんなの未来部会」では、新たにヘルプカードの周知状況、障がいのあるかたの防災について話し合っただろうかと意見があがった。防災については、事務局において関係部局と調整し、部会において話し合う内容等を整理してもらうことになった。前回の部会において話題が出ていた福祉人材の育成、また障がいに関する普及啓発については各障がい者団体においてさまざまな活動をしているが、コロナ禍の中でその活動に制限がある状況や、小・中学校の段階から障がい理解に関する働きかけが必要ではないかという意見があり、今後も引き続き検討を続けることとなった。

(委員) 「就労支援部会」では、就労支援ハンドブックの作成について、今後の障がい者総合支援法の改正を考慮するとこのままの内容で作成をつづけるべきかという議論になった。また、就労移行支援の利用につながるかたが少ない現状について、当事者が就労を希望する際に相談を受けるかたが、どのような支援を選択肢として提示しているのかを把握してはどうかという意見があり今後窓口で対応するハローワークや相談支援専門員にヒアリングをする機会を持ち、当事者のかたが一般就労につながり、その場所で長く働き続ける支援について考えていきたい。

4 その他

「うららマルシェ」の実施状況について、事務局から説明

5 閉会へいかい

—以上—いじょう